

今年も早いもので、一年の締めくくりの時期になりましたが、いかがおすごでしょうか。

今回は、**肺炎予防接種について** お知らせします。

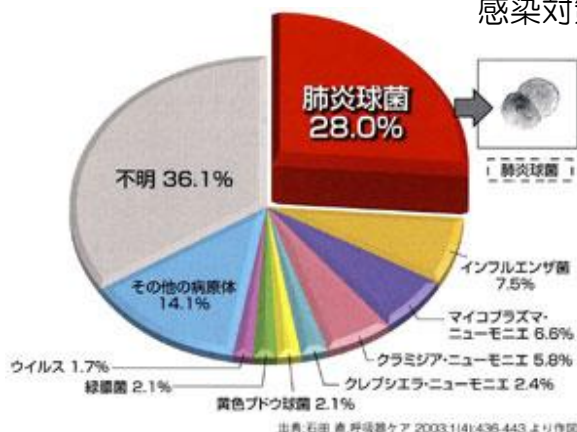
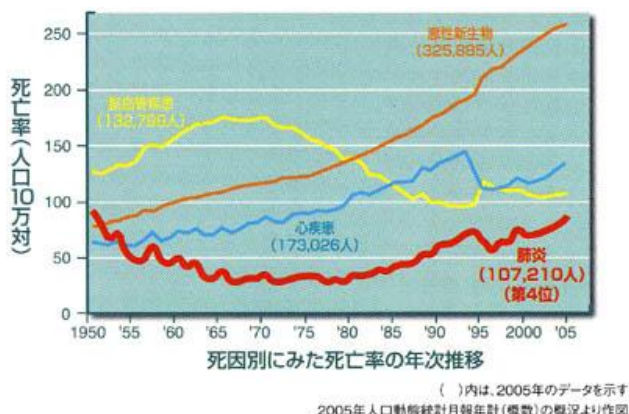
肺炎とは日本人の死因の第4位であり、さまざまな病原菌の感染によって肺に炎症が起こった状態のことです。その病原菌のなかで一番割合が高いのが肺炎球菌です。(一般患者様の場合。透析患者様の罹患率はもっと高くなります)

肺炎の症状は呼吸症状が主体です。咳、発熱、悪寒、胸痛、呼吸困難などが数日間続きます。発熱は高齢者では出ないことがあり、単なる食欲不振、元気がないなどが唯一の症状である場合もあります。

肺炎球菌ワクチンを接種することで肺炎の感染症を予防し重症化を防ぐことができます。透析患者様は、一回の接種で3～5年位 免疫が持続すると言われています。接種して抗体(免疫)ができるまで、平均で3週間ほどかかります。接種後に注射部位の腫れ、痛み、発熱などがみられることがあります。通常2～3日で治まります。透析をされている患者様には、肺炎を予防する目的でインフルエンザ ワクチンとあわせて接種することを推奨されています。

重要なことは肺炎の予防です。 外から帰った後は手を洗い、うがいをしましょう。また、バランスの良い食事・適度な運動・十分な睡眠といった規則正しい健康的な生活を心掛けましょう。

感染対策委員



年末年始体制のお知らせ

年末年始も、日曜日以外は、いつも通り透析治療を行います。
送迎バスも通常通り運行いたしますので、よろしくお願いいたします。